伝わるニュースリリース5つの要素と10のワザ

5つの要素 ①製品・サービスの発売時期と概要、②誰にどのように役立つものであるか、③会社理念と製品・サービス 開発の背景、④今後の目標(またはスケジュールや抱負)、⑤画像やグラフ

ニュースリリースに盛り込みたいキーワードや表現を整理しましょう! →カタカナで表現するのをやめ日本語に置き換えましょう!情緒的な表現はNG。 形容詞を使わずに、事実を淡々とまとめましょう。 自社の説明文をつくりましょう! →リードの冒頭で自社を簡潔に説明しましょう。 例:「~~事業を展開する株式会社〇〇は、・・・」 見出しは分かりやく具体的な言葉でつくってみましょう! →商品・サービス名、発売(開始)日時を具体的に! 日付の西暦は、いつの情報であるかを明確にするためにいれます。 リードをつくってみましょう! →すべての情報を400文字程度に盛り込みましょう。社会的意義は リード(または本文)に必ずいれましょう。 →期限、今後の方針(抱負でも可)、売り上げ目標など数字を入れましょう! 本文をつくってみましょう! →説明が多い場合は、見出しを立てるか、箇条書で。 →それでも多い場合は、2ページ目以降に添付資料をつけましょう。 語尾はです・ます調 →はじめましての気持ちをこめて構成を! →読みにくい地名、人名にはルビをふりましょう! グラフや画像をいれましょう! 図やイラストでもOK! →視覚的な印象は実はとても大事です! →ファックスやコピーを想定してモノクロでも分かる色使いにしたほうがよいときも 会社概要のほか担当部署名、できれば担当者名を! →安心して問い合わせができる窓口があることが、信頼獲得につながります! 発信時期は、サービス開始の1ヶ月~2週間前に! →内容にもよりますが、すぐに取材や記事掲載にはならない可能性を考えて 少し早めがおすすめ →サービス開始後の経過報告や事後報告のリリースはタイミング早めに。 71 提携、賞の受賞、助成事業の獲得などは企業名を知らせるチャンス! →自社以外の企業や団体と関連する情報は、一社単独リリースより大事!

小さな会社の広報に必要な、ニュースリリースの要素です(書き方のコツは、裏面をご覧ください)

